

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成30年1月11日 (2018.1.11)

【公表番号】特表2017-527713(P2017-527713A)

【公表日】平成29年9月21日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2017-528751(P2017-528751)

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/277 (2006.01)

D 0 6 L 1/20 (2006.01)

D 0 6 B 1/02 (2006.01)

D 0 4 B 1/14 (2006.01)

D 0 4 B 21/00 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 M 15/277

D 0 6 L 1/20

D 0 6 B 1/02

D 0 4 B 1/14

D 0 4 B 21/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月24日 (2017.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

かせ形態またはコーン形態の編物用原系を提供する段階と、
提供された原系の不純物と油剤を除去するための洗浄を行う段階と、
洗浄された原系に、 $0.4 \text{ kg f / cm}^2 \sim 10 \text{ kg f / cm}^2$ の加圧条件下で、撥水剤を含有する撥水液を $30 \sim 60$ の温度で噴射させて撥水剤をコーティングする段階と、
、
撥水された原系を脱水した後、乾燥させる段階と、
乾燥した原系に 100 を超えない熱を加えて撥水剤を原系に固着させる段階とを含み、
、
前記撥水液は、原系 100 重量部に対して $1000 \sim 1200$ 重量部の水および $3 \sim 20$ 重量部の撥水剤を含む撥水機能を有する編物用原系の製造方法。

【請求項 2】

前記洗浄段階の後、洗浄された原系に染色液を供給させて原系を染色する段階と、その後、洗浄水を供給して、染色された原系を水洗する段階とをさらに含む、請求項 1 に記載の撥水機能を有する編物用原系の製造方法。

【請求項 3】

前記編物用原系が $45 \sim 75$ 重量 % のアクリル繊維と $25 \sim 55$ 重量 % のウール繊維、または $60 \sim 90$ 重量 % のウール繊維と $10 \sim 40$ % のナイロン繊維で構成される、請求項 1 または 2 に記載の撥水機能を有する編物用原系の製造方法。

【請求項 4】

前記編物用原系をかせ形態で提供する場合、前記撥水液は、原系 100 重量部に対して

1 0 0 0 ~ 1 2 0 0 重量部の水および 4 ~ 7 重量部の撥水剤を含むことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の撥水機能を有する編物用原系の製造方法。

【請求項 5】

前記編物用原系をコーン形態で提供する場合、前記撥水液は、原系 1 0 0 重量部に対して、0 . 1 ~ 0 . 6 重量部の浸透剤および 0 . 3 ~ 1 重量部の酢酸をさらに含む、請求項 4 に記載の撥水機能を有する編物用原系の製造方法。

【請求項 6】

前記撥水機能を有する編物用原系は、原系 1 0 0 重量部に対して撥水剤が 2 ~ 4 重量部コーティングされることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の撥水機能を有する編物用原系の製造方法。